

令和4年度八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会会議録

開催日時	令和4年10月12日(水)(意見報告期限)
開催場所	書面により開催
八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員	<p>【委員23名】</p> <p>【大田原市】小林会長、玉木副会長、井上委員、車田委員、指出委員、岡野委員、伊藤委員、吉岡委員、平久江委員</p> <p>【那須塩原市】荻原委員、村山委員</p> <p>【那須町】鈴木委員、阿久津委員</p> <p>【那珂川町】矢内委員、小高委員</p> <p>【棚倉町】村越委員、八巻委員</p> <p>【矢祭町】古市委員、布川委員</p> <p>【埴】金澤委員、星委員</p> <p>【大子町】中野委員、二方委員</p>

本懇談会については、八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員出席の元、令和4年9月27日(火)午後2時30分から大田原市市民交流センター中会議室にて開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催方法を変更(書面開催)いたしました。

議題

(1) 令和4年度八溝山周辺地域定住自立圏連携事業について

○説明要旨

(定住自立圏の概要について)

- ・定住自立圏は、地方圏において人口の流出を食い止めるとともに、都市圏からの人口の流入施策を展開することを期待して創設された政策です。八溝山周辺地域定住自立圏においては、大田原市が「中心市」という中心的な役割を担う立場で、構成する市町と連携し、人口の定住化を進めるために様々な事業を展開しています。
- ・これまでの経緯の詳細については、「八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン やみぞハッピープロジェクト(案)」(以下、共生ビジョン)の2頁に記載があります。
- ・共生ビジョン懇談会につきましては、2頁下段部分※印に記載のあるとおり、構成市町の民間や地域の関係者等で組織され、共生ビジョンの策定又は変更に関する事、及び八溝山周辺地域定住自立圏の推進に関する事について協議を行うことになっていきます。
- ・共生ビジョン6頁には、定住自立圏の特徴と現状についての記載があります。この圏域は、栃木県の北東部、福島県の南部、茨城県の北西部に位置し、3県にまたがっ

て八溝山を取り囲む清冽(せいれつ)な水と豊富な緑に恵まれた地域です。また、那珂川、箒川、久慈川などの大河川が流域(りゅういき)を潤す農業に適した地域であり、都市機能の集積度が高いエリアや、国際的観光地としても名高いエリアが存在しています。圏域全体にわたり歴史的にも貴重な文化遺産が数多く存在し、八溝山や阿武隈山系の山々が織りなす四季折々の景観に富んだ豊かな自然と関東地方の北部地域と東北地方の最南端地域の多彩な文化が融合した地域でもあります。

・圏域内の総人口は28万1千941人で、平成12年からの15年間で1万4千622人減少しています。一方で、高齢化率は27.5%となり、15年間で8.1ポイントも上昇するなど、圏域全体において人口減少や高齢化が進んでいる状況にあり、近隣市町による従来の枠組にとらわれない新たな連携・協力により、人口減少対策をはじめとした圏域全体の行政機能の維持・向上を図る取組が必要となっています。

・共生ビジョン7頁からは、構成市町の概要についての記載になります。国勢調査をベースに2005年から2010年までの人口動向を勘案し推計した「国立社会保障・人口問題研究所推計」と国の「2060年に1億人程度の人口を維持する」などの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」とそれを実現するための具体的な施策をまとめた「総合戦略」を勘案し、人口の現状分析、意識調査をもとに各市町において試算した「将来展望人口」の推移となっています。構成市町の人口はいずれも減少する見通しとなっています。

・こういった状況を踏まえて、圏域の目指す将来像について、共生ビジョン16頁から記載があります。構成市町は、互いの独自性を尊重しつつ機能の統合を図り、圏域を一体的に捉えた効率的な経営を目指すことを第一義とし、圏域内住民のニーズの高度化・多様化にも応えられる行政サービスを実現するため、各種の行政課題について、基礎的かつ共通の取組を優先的に行い、より高度な圏域づくりに取り組むこととします。

(資料について)

・「資料1」は令和4年度の連携事業を一覧としたものです。青色の色塗りをしてある事業が、連携市町から負担金をいただいて実施している事業です。「資料2」として、今年度の事業のうち会議やイベント等を一覧にして進捗状況をまとめてあります。

(負担金事業など主な事業の実施内容について：資料1)

・「健康増進事業」は、令和2年度から、「健康セミナー」を連携市町から負担金をいただいて実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、昨年度まで実施を見送っている状況です。今年度の実施につきましては、今後、部会において、開催時期、開催方法及び代替事業も含めて検討を重ねてまいります。

・「介護予防推進事業」は、高齢化率の高い圏域において、介護予防推進における連携を行い、介護予防事業の充実を図ることを目的としたものです。以前は「高齢者スクール」を開催しておりましたが、終了に伴い、新たな試みとして、各市町の介護予防

に関する活動の現場を、相互に視察研修を行う準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、介護施設の研修はリスクが高いと判断し、現在まで実施を見送っております。視察研修は実施できておりませんが、昨年度、「代替事業として、連携市町へ「コロナ禍における介護予防に関する住民への普及啓発状況」を照会し、その結果を連携市町間で共有いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立っていないことから、連携市町間での情報交換、意見交換等の事業を検討しております。

・「広域観光推進事業」は、各市町の地域資源、特産品等の観光資源を活用した情報発信等を行う事業です。過去には、旅行雑誌への広告記事掲載やフォトコンテストの開催、とちぎテレビとのタイアップ番組の作成等に取り組んできました。今年度につきましては、9月25日に開催いたしました「天狗王国まつり」で各市町のブースを設置し観光PRを行いました。

・「圏域内特産品販路拡大事業」は、広域観光推進事業と同様に、9月25日に開催いたしました「天狗王国まつり」内で、各市町「自慢の食」のブースを出店し、販売、PRを行いました。この「圏域内特産品販路拡大事業」につきましては、平成29年度から3年間、「八溝山周辺道の駅等を巡るスタンプラリー」を開催いたしました。施設への来場だけでなく、施設内での買い物等を達成条件とした賞を設定することで、特産品等の紹介、地域経済の活性化を目的とした事業です。今後、部会を中心に、圏域内の周遊及び活性化に資する事業の検討を行ってまいりたいと思います。

・「防災研修会等実施事業」は、現在、防災研修会の開催に向けた検討をしております。

・「無料法律相談実施事業」は、毎月第2木曜日に対象の市町の住民の方を対象に無料法律相談を行っております。

・「ポータルサイト構築・運営事業」は、構成市町の観光やイベント情報を発信するポータルサイトの維持、運営を行うものになります。これまで、負担金事業として実施いたしました「広域サイクルマップの作成」「八溝フォトコンの審査結果」、スタンプラリー・婚活イベント情報等を掲載いたしました。

・「結婚促進対策事業」は、圏域内の市町を会場にした出会いのイベントの開催や結婚促進施策に関する意見交換、研修会等を実施する事業です。新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の令和元年度には、婚活パーティーを大子町と大田原市を会場にそれぞれ1回ずつ開催し、延べ男性31名、女性27名の参加があり、9組のカップルが成立しました。それらに加え、「独身の子を持つ親御様のための婚活セミナー&座談会」を那須町のホテルにて開催し、25名の参加をいただいております。昨年度、一昨年度

につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止の決定をいたしました。今年度の実施につきましては、現在、開催時期及び開催方法について検討しております。

・「スポーツイベント等実施事業」は、スポーツを通じた圏域内の交流を図ることを目的に、様々な教室や交流大会を開催しております。昨年度、一昨年度と新型コロナウイルス感染症の影響により、大半の事業が中止を余儀なくされましたが、今年度の実施につきましては、現在、開催時期及び開催方法について検討しております。

・「職員研修実施事業」は、これまで、棚倉町の「ルネサンス棚倉」を会場に、「若手職員研修会」を開催した実績があります。今年度の実施につきましては、現在、開催時期及び開催方法について検討しております。

(令和4年度のイベント等について：資料2)

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から既に中止となったイベントもあり、また、それ以外にも多くのイベント等が、内容や時期について見直しを迫られている状況です。現在、各部会において、オンライン等を活用したコロナ禍でも実施可能な代替事業の検討を進めているところではありますが、スポーツイベント等実施事業をはじめ、今後の状況によってはさらに多くのイベント等が中止となる可能性もあります。そのような状況ではありますが、八溝山周辺地域定住自立圏の結びつきを維持し、より強めていくと共に、アフターコロナやウィズコロナを意識した取組を検討し、より一層圏域の魅力発信に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

#### ○委員意見

委員

ポータルサイトは、観光スポットのマップなど非常に興味を持てるつくりとなっているが、「特産品」や「食べる」「温泉」等の項目には中身がないため、自治体の認証店などを掲載できるとよい。

委員

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たず、イベントや大会が開催出来ないのは仕方がない。9月25日に「天狗王国まつり」が開催され、観光PRブースに参加したが、多くの人を訪れ、素晴らしいイベントであった。全国旅行支援が10月11日から実施され、人流が活発になると思うので、感染対策をして計画されている事業が出来ることを期待している。

## (2) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンの変更について

### ○説明要旨

#### (共生ビジョンの変更点について)

・共生ビジョンにつきましては、期間をおおむね5年間とし、毎年度所要の変更を行うものとされております。今年度につきましては、第2次共生ビジョン4年目であり、新たなビジョン策定期間ではありませんが、所要の変更をいたします。

・配布した共生ビジョン変更案については、変更箇所を赤字で記載してあります。今回の変更点は4点あります。まず1点目は、共生ビジョン7頁から14頁にかけて「構成市町の概要」が記載されておりますが、各頁、右上に記載のある人口・世帯数を令和2年国勢調査の数値に更新しております。2点目については、共生ビジョン27頁から61頁に各事業の事業概要と事業費を記載していますが、それぞれ「事業見込額」の令和4年欄に本年度の事業費の計を記載しました。3点目は、共生ビジョン65・66頁で、「共生ビジョン策定の主な経緯」の最後に本年度の会議及び共生ビジョン変更の予定について追記いたします。共生ビジョンは、この後、懇談会委員の皆様からのご意見等をお伺いしたうえで、所定の見直しを行い、11月4日に開催する推進協議会において決定します。4点目は、共生ビジョン68頁の委員名簿を更新いたしました。

### ○委員意見

意見なし

## (3) 事業提案等、その他意見

### ○委員意見

事業提案・意見なし

以上